

西公園の石碑・モニュメント一覧

石碑名称	建立	人物	いわれ等について
①菊池養之輔歌碑 きくちようのすけかひ	昭和44年	菊池 養之輔 きくち ようのすけ	仙台市名誉市民 大正昭和の政治家(日本社会党) 「新しき 世界のために 靴の紐 結ぶしもべと 我をならしめ」
②山城大橡國包累代鍛刀の地碑 やましろのだいじょうくにかねるいだいたんとうのちひ	昭和55年	國包 くにかん	初代國包は仙台藩 伊達家の刀工 武将でもある
③浜夢助句碑 はまゆめすけかひ	昭和37年	浜 夢助 はま ゆめすけ	東北の川柳の発展に尽力 「雪国に うまれ 無口に 馴らされる」
④菊田畫博碑 きくたがはくひ	不明	菊田 伊州 きくた いしゅう	江戸時代後期に活躍した絵師 仙台四大画家の一人 他に東東洋、小池曲江、菅井梅閑
⑤愛宕山 あたごやま	不明		嘉永4年(1851年)11月12日と刻まれている 愛宕神社に関連したものと思われる
⑥山神 やまのかみ	不明		嘉永4年(1851年)11月12日と刻まれている 「小牛田山の神」に関連したものと思われる
⑦殉職消防組員招魂碑 じゅんしょくしょうばくみいんしょうこんひ	昭和6年		公益財団法人宮城県消防協会が慰靈祭を行っている
⑧故内大臣海軍大将子爵齋藤公碑 こないだいじんかいぐんたいしょうこしゃくさいとうこうひ	昭和15年	斎藤 實 さいとう まこと	岩手県水沢市出身 第9代 内大臣 第30代 内閣総理大臣
⑨支倉六右衛門碑 はせくらろくえもんひ	明治41年	支倉 常長 支倉六右衛門長経	安土桃山時代から江戸時代初期にかけての武将 慶長遣欧使節団を率いてヨーロッパまで渡航した
⑩「移松梅記」碑 「いしょうばいき?」ひ	明治8年	山家 豊三郎 やんべ とよさぶろう	明治時代に自分の屋敷を開放し、元武士や庶民に店を開かせ、 現在の一番町商店街の基礎を作った
⑪佐久間晴嶽碑 さくませいがくひ	大正5年	佐久間 晴嶽	仙台藩の絵師 菊田伊洲の娘婿である 南材木町小学校初代 校長
⑫巴溪先生頌徳之碑 はけいせんせいしようとくのひ	昭和3年	佐々木 巴溪 ささき はけい	明治昭和時代前期の書家、神職
⑬芭蕉の句碑 ばしようのくひ	明治26年	松尾 芭蕉 甫山、烟岳ら総俳士連	芭蕉の二百回忌で建てられたものと推定、田植塚と呼ばれる 「風流のはしめや奥の田植うた 者世越(はせを)」
⑭道標 みちしるべ	明治26年	鎌田 浦山 佐藤 潜龍ら	桜ヶ岡公園再興の節、建てられたもの 「初空や…」云々の句が刻してある
⑮明治天皇御駐輦址碑 めいじてんのうごちゅうれんしひ	昭和2年	明治天皇	明治9年に西公園で開催されていた宮城博覧会の観覧を記念した もの 博覧会では競馬が催された
⑯高橋鳳翠先生頌徳之碑 たかはしほうすいせんせいしようとくのひ	昭和60年	高橋 凤翠	東北書道会初代会長 七回忌を機に建立された 生涯師を持たず、鳳翠流の書風を確立した
⑰針の碑 はりのひ	昭和60年		社団法人日本和裁士会宮城県支部創立30周年を記念し建立されたもの 宮城県知事 山本壯一郎書
⑱力士駒ヶ嶽之碑 りきこまがたけのひ	大正6年	駒ヶ嶽 國力 こまがたけ くにりき	明治大正期の力士 宮城県遠田郡涌谷町出身 最高位は大関 以後宮城県からは約100年、横綱や大関は出ていない
⑲報徳記念碑 ほうとくきねんひ	大正5年		國體之精華(国体の精華)に関するもの 今泉定助?撰文 明治期の天皇主権、忠孝の精神を表したものと推測
⑳仙臺市長遠藤庸治紀功碑 せんだいしちょうえんどうようじきこうひ	大正8年	遠藤 庸治	初代仙台市長 八重紅枝垂桜を広めた結果、この桜が遠藤桜とも呼ばれる また京都の平安神宮創建にあたり献上している
㉑明治天皇御駐輦所址 めいじてんのうごちゅうれんしょあと	昭和5年	明治天皇	明治9年に西公園内で旧仙台藩士12名により行われた天覧騎射が開催され、その観覧を記念したもの
㉒仙台キリストン殉教碑 せんだいきりしたんじゅんきょうひ	昭和46年		1624年に真冬の広瀬川で水責めの拷問を受け殉教したカルバリオ神父と8名の殉教碑である その他6名の殉教があった
㉓常盤木学園発祥地の記念碑 ときわきがくえんはつしうちのきねんひ	平成7年		昭和3年4月元柳町(西公園内)に設立される 昭和20年第二次世界大戦により校舎を焼失
㉔仙台高校発祥の地記念碑 せんだいこうこうはつしうちのきねんひ	平成27年		記念碑が建てられた場所は戦火で校舎が消失した場所である 創立75周年記念事業によるもの
㉕仙台市簡易商業学校跡碑 せんだいしかんいしようぎょうがつこうあとひ	平成17年		明治29年西公園内にあった立町小学校を間借りし、発足した 創立100周年記念事業によるもの
宮城県殉職警察官の碑 みやぎけんじゅんしょくけいさつかんのひ	昭和8年		殉職した警察官の靈をまつり、永遠にその勲功を讃えるもの 公益財団法人警察協会が管理
令和7年撤去			

モニュメント名称	設置	人物等	作品について
Ⓐ彫刻「ふたり」 ちようこく「ふたり」	昭和59年	朝倉 韶子 あさくら きょうこ	ふたりが、昼と夜、空と山のはざまのうつろいゆく時空のなかで、時として、語らい、自由にふれあうことを願っています
Ⓑ彫刻「杜に聴く」 ちようこく「もりにきく」	昭和61年	雨宮 敬子 あめのみや けいこ	健康で豊かな仙台市の素晴らしい発展を願って制作しました
Ⓒこけし塔 こけしどう	昭和36年	仙台商工会議所	観光振興を目的に設置された高さ7.4m・重さ8tの鋳物こけしで、仙台商工会議所が中心となり設置された
ⒹDSL C60-1号 えすえる しーろくまる いちごう	昭和44年	日本国有鉄道	当時の仙台市在住の小学生が国鉄東北支社に手紙を送ったことがきっかけとなり、西公園に設置された
Ⓔ東勇作 牧神像 あずまゆうさく ばくしんぞう	平成26年	村田 勝四郎 むらた かつしろう	福岡RKB毎日放送敷地内に置かれていたが、公益社団法人日本バレエ協会の働きかけにより、東勇作が生まれ育った仙台市青葉区の西公園に設置された
Ⓕ杜の都れんが下水洞窟 もりのみやこれんがげすどうくつ	明治30年		明治に築造され、現在も使用されている歴史的に貴重な煉瓦下水道。天窓から地下の下水道管を見学できる。